

T D U同窓会平成19年度 第4回幹事会議事録

会議開催日時	2007.10.25(木) 18:45~20:20
開催場所	校友会館6F会議室
参加者 (敬称略・順不同)	村田耕治, 小林幸宏, 橘 敏彦, 山名昌男, 柳田祐二, 長坂健一郎, 野崎 隆, 吉田典久, 野島謙之助, 鈴木迪子, 前田 治, 枡川重雄, 林 博文, 三好守眞, 千葉公胤, 石崎泰司, 西村一郎, 吉川俊幸, 本橋光也, 相原浩一, 赤松 徹, 都築正尚, 小島一記, 稲毛通男, 高見澤計夫 (幹事24名, 事務局長1名, 計25名)
資料	1. 19年度 第4回幹事会(レジメ) ・慶弔規定に関する野島氏よりの意見書 ・準会員の校友会費と同窓会費の説明表 2. 東京電機大学同窓会慶弔規定(案)と 東京電機大学同窓 会丹羽賞規定(案) 3. 平成19年度丹羽賞・同窓会奨励賞受賞団体 4. 校友会のしおり2007年 5. 親睦旅行会のお知らせ(雀のお宿磯部館パンフレット) 6. 平成19年度収支決算書(平成19年4月1日~平成19年9月30日)
議事内容	記録者: 高見澤

・会長挨拶

1. 柴田年世様(第16代同窓会会長)との懇談会の予定でしたが, 諸般の都合により次回に延期いたします。
2. 総務委員会の枡川先生が授業の途中であるため, 総務委員会の報告を最初に行います。

・各委員会の活動報告

1. 総務委員会報告

- * 中間決算状況について説明した。
- * 支出の部の事業費については1,020万円の予算に対し156万円の支出ですが, 今後各種イベントが開催されるので予算に近づいていくと思われる。
- * 出入金の領収書などをチェック・押印し, 内容確認を行った。
- * 丹羽資金の公社債と神戸市公募債が近々満期を迎えるが, その後どのような処理をするかが課題となります。同窓会の資金と明確な分離が必要と思われます。時期が近づいた時, ご審議いただきます。

(会長発言)

丹羽基金の良い受入れ先をご存知ありませんか? また, 郵便局の定額貯金に1千万円の預金があり約1年を経過しています。あわせて, 良い運用方法をご存知の方がいましたら連絡願います。

2. 規定検討委員会（委員長 野崎 隆）

（会長発言）

レジメの2ページ目に野島さんの意見書が添付してあります。意見書に対する会長の意見が述べられた。

- ・ 同窓会運営などに尽力された方々に対する弔意の表現方法にルール付けを行ったもので、公平性を損なうものではないと思われます。
 - ・ また、「規程」と「規定」の違いは大きな意味はなく、世の流れに準じたものです。
 - ・ この規定があるからこそ公平性が保たれていと思われるため、現行の慶弔規定で進めたいと考えています。
- * 東京電機大学同窓会慶弔規定（案）と 東京電機大学同窓会丹羽賞規定（案）の改定状況が前回に続き報告された。については内容変更はない。の第4条では対象者と選定者など文言を明確にした。第6条の2では運営委員の活動内容を明確にした。第7条を追加し受賞者の決定ルールを明確にした。
- * については、限られた範囲の人を対象としているので「規定」ではなく「内規」とか「運用基準」などの表現がいいのではという意見が、再度提出された。また、慶弔費としないで交際費として処理するべきではないのかとの提言があった。
- * 慶弔規定の表現方法などについて、弁護士などの専門家に問うてみたら？など各種意見が交換されたが収束せず、次回に持ち越すのは時間の浪費と思われるため、会長提案により拍手で採決を行った。現行の規定で進めることが承認・採択された。ただし、内容は承認されたが、表題については今後議論する余地を残すということで承認された。
- * の丹羽基金については第4条の対象者の選出について文章の修正「から選出する。」 「とする。」が提案され採用された。また、第6条との関連を明瞭にするようにという意見が提案されその方向で修正することとなった。
- * の「学生および団体」については、「学生」を除くべきという意見が出たが、そのままいくことで承認された。

3. 広報委員会（委員長 相原浩一）

- * 「歴代会長との懇談」は、今回は延期し次回に延期しました。
- * 校友会のしおりについての報告があり、大学同窓会の担当ページについて、来年度に反映させるべき意見を求めた。後日。

4. 準会員支援委員会（委員長 西村一郎）

- * 丹羽賞および同窓会奨励賞の受賞団体の紹介（学生支援センターへの申請は17団体あり、支援センターが集約した結果から12団体に絞り込んだ。）
- * 体育会系の申請が大半を占めた。また、工学部第二部および情報環境学部からの推薦団体はなかった。また、千葉キャンパスからの推薦がなかったことから、この賞そのものの周知がなされていないと思われ

るため、PRを行います。

- * 工学部については11/3のOB懇談会で、理工学部は11/4の後夜祭で表彰する予定。
- * 丹羽賞と同窓会奨励賞は丹羽賞に包括されるのだが、丹羽賞規定の中に同窓会奨励賞について明記されていないことなどから、丹羽賞の金賞・銀賞・銅賞などに表現を変える必要を感じる。
- * 選定理由に「活発に活動を行っている」や「伝統ある団体で、日々稽古に精進している」などは、選定の理由として認められない。
- * あえて、6団体ずつ選定する必要はないのではないか。学園100周年と理工学部の30周年を考慮した。
- * 大学の名を知らしめるべく活躍した団体を表彰すべきではないか？

5. 事業委員会（委員長 本橋 光也）

- * 親睦旅行会への出席者確認。
- * 目標の50人に向けて、各学部長・商工懇話会・職域電機学会会長などに、メールなどで案内をしている。
- * 東京電機大学同窓会名で郵便局に口座を開設した。一般会員からの支払い窓口とした。今回の幹事については、当日集金する。

. その他

1. 校友会と同窓会の関係について説明。

- * 卒業後10年間は校友会会員だが会費を納めないと校友会会員ではなくなる。同窓会は永久会員である。（資料参照）
- * 校友会では、卒業生の永久会員制を敷くべく検討している。
- * 校友会と同窓会との関係を卒業していく学生に説明する責任が同窓会の幹事にあるのでは？ 実際に全学部や教室に説明に行くのは困難が伴い、実現性は低いのでは？
- * 卒業後の10年先のことを説明しても理解してもらえないし、リーフレット配布などでも10年後に会費を納める必要があることも理解してもらえないだろう。

以上、多彩な意見が提案されたが、今後の継続検討課題となった。

以上